

情報ステーション 第14期・2017年度 事業報告

0. 概要と組織

本年も「そこに住む人々が、自分の街に対して誇りと愛着を持ち、風土や歴史を元に、文化の創造と経済の自立を目指し続けること」と定義したまちづくりに資する事業として、多世代交流が自然と生まれる活動に取り組みました。特に民間図書館の開設、各種イベントのサポート、クラウドファンディングサイトの運営などに注力するため、みらい大学の一般講座を行わないなど選択と集中をして効率的な運営を心がけました。

0-1. 理事会

森隆志、横田孝子、浅田やよい、石津由美、岩崎樹里、岩城佳苗、前川英磨の7名の理事を新任し、機能的な理事会運営に取り組み営業や広報について議論を深めたほか、多様な考え方を取り入れた運営を実現し開かれたガバナンスを目指しました。

0-2. 財務管理

有償スタッフの増加によりキャッシュフローが悪化しましたが、売掛金の整理や自動引落の登録など改善に努力しました。また代表者の交代にむけての口座名義の変更などの手続きを通じて、より透明性の高い財務経理環境を構築しました。

0-2-1. 助成金

より広い活動を行うために助成金などへの応募を行い、国土交通省の「空き家対策の担い手強化・連携モデル事業」において、空き家を民間図書館化する事業が採択されました。

【目標に対する実績】

- 年間 240 万円の助成金獲得
- 助成金審査結果に対する検証

年間7件の助成金に応募いたしましたが、獲得には至らず。

担当者と事務局だけではなく、理事会において提出直前の書類確認を行い、多様な意見を取り入れ、確度の高い提案書を作成できるようになった。

0-2-2. 売掛金管理

売掛金を管理し、キャッシュフローの改善を行いました。

【目標に対する実績】

- 発行から3ヶ月以上経過した売掛金の精査

1カ月毎に売掛金の精査を行い、売掛金を一部回収することができた。

1. 民間図書館事業

- 実施日時：通年
- 実施場所：全国92カ所の民間図書館
- 従事者数：各図書館の窓口ボランティアや単発ボランティアの参加者など約850名（前期800名）
- 受益対象者の範囲及び人数：民間図書館の利用登録者利用者13、102名（前期12、470名）

民間図書館事業では、地域の交流空間というコンセプトを実現するため、地域の方とのつながりを増やし、またボランティアなどに関わってくれた方々の更なる活動への参加促進を目指しました。

その為に、ボランティアDAYの開催増に取り組んだほか開催告知に力を入れ、また当日の参加者には各種案内資料を用意するなど体制整備に務めました。

1-1. 図書館運営部

民間図書館事業図書館運営部は、ボランティアのみで運営する既存館のマネージメント、既存協働館の本棚の管理、新規図書館の開設を担当しました。

新規開設においては、過去に協働を行っている団体との事例をさらに広げるとともに、新たに連携できる団体等を増やすことに努めました。

【目標に対する実績】

- ・図書館数を延べ120館に増やす

新規開設は6館行い、延べ館数は92館に留まった。営業フローの確立や広報物の制作の遅れ等が原因と考えられ、次期は改善に努める。

- ・既存協働館の本棚の管理専任職員の採用【1Q、2Q】

2名採用できたが長続きせず、2名とも退職となった。

- ・新規協働先の営業手法を検討しフロー化【1Q】

広報物の作成と図書館を作るための問合せWEBページの作成を行った。

- ・新規協働先の営業手法を適用した営業を行う【2Q】

医介塾に年間6回ほど参加し、見込顧客が増加した。

1-2. 蔵書管理部

民間図書館事業蔵書管理部は、本の寄贈から登録・配架・移送・除籍・販売など蔵書流通のすべてを担当しました。

蔵書管理専門の職員を採用し、本の流通サイクルを常に動かせるようにしました。

【目標に対する実績】

- 蔵書管理専任職員の採用【1Q】
週2勤務を1名採用し、蔵書の整理及びボランティアDAYの管理などを任せることができた。
- 店頭販売スキームの検討【1Q、2Q】
- 店頭販売のトライアル開始【3Q、4Q】
店舗販売には取り組めなかったが、提携先への古本の販売を行った。
- 寄贈本を年間4万冊受入
色々な企業から多数本を寄付していただくなど目標の4万冊には届きました。
- ボランティアDAYを週2回ペースで開催
4Qには週2回ペースでの開催ができ、月に最大で100名ものボランティアを受け入れることができた。
- Amazon月額販売額20万円の達成
本の登録もボランティアDAYで行っていたので開催減に伴い最大約11万円にとどまった。
- 古本市に年間6回参加
予定されていたイベントが雨天で中止になるなどして、2回の参加にとどまった。
- 蔵書センター開設の準備 → 今期は取り組むことができず、来季に再度取り組む。

1-3. 情報システム部

民間図書館事業情報システム部では、蔵書管理システム及び店頭端末、またこれらの通信ネットワーク、蔵書検索サイト「図書館生活」などの開発・管理とこれらが持つ情報管理すべてを担当しました。

1-3-1. 蔵書管理システム

蔵書管理システムでは、蔵書入替時のロケーション変更用のシステムを開発したほかアプリの改善を進めました。

【目標に対する実績】

- ハンディスキャナ対応の設計・実装【1Q、2Q】
ハンディスキャナではなく、スマホアプリを導入し、入れ替えの効率がアップした。
- オフラインデータの反映方法の設計【1Q】
- オフラインデータの反映【2Q】
紙で貸し出しを行っている図書館のデータを電子データにすることによって、より精度の高いレポートを出すことができるようになった。
- 新規開館図書館の蔵書選定（蔵書最適化）システムの設計【3Q】
- 新規開館図書館の蔵書選定（蔵書最適化）システムのプロトタイプ実装【4Q】
設計は行ったが、実装完了までは至らず、来季の実装完了を目標とする。

1-3-2. 蔵書検索サイト「図書館生活」

図書館生活では「図書館をもっとたのしく便利に」の趣旨を実現するため、従来の蔵書検索機能の他に、図書館の情報発信機能を強化しコンテンツを増やす事により、各図書館の楽しさ・魅力が多くの人に伝わるようなサイト作りを目指しました。

【目標に対する実績】

- ボランティア向け機能の移管【1Q】
コーポレートサイトと事業用サイトの分離を行い、より目的のはっきりとしたサイト構成ができた。
- オンライン会員登録の稼働【2Q】
今期は取り組むことができず、来季に再度取り組む。
- ブックレビュー機能の実装【4Q】
- 各図書館ページのコンテンツ強化
作成した当初から目的が変化しつつあるので、図書館生活というサイトの在り方から再考することになった。

2. イベントサポート事業

イベントサポート事業では、地域のおまつりやイベント等の広報や事務局サポート、会場提供、ボランティアによる開催当日の運営支援などを担当しました。

【目標に対する実績】

- サポートイベントの記録方法のフロー化【1Q】
チラシやポスターの設置、打合せの回数などの記録を月次でとることができた。
- 会場提供拡大方法の検討
スペースマーケットへの掲載により、より多くの方々に会場提供ができるようになった。

3. 生涯学習コミュニティ事業

生涯学習コミュニティ事業では、誰もが気軽に参加でき、誰でも講師になれる市民大学「船橋みらい大学」開催してきましたが、今期は他の事業に注力するために開催を自粛しました。

【目標に対する実績】

- 講演のアーカイブ化の検討
今期は取り組まず、来季以降の独立した運営を検討することとなった。

4. ソーシャルファイナンス事業

地域経済の循環促進を目的とし、地域に特化したクラウドファンディングサイト「FAAVO千葉」の運営を行いました。

【目標に対する実績】

- 運営パートナーの誘致【1Q】
- 運営パートナー提携料無料キャンペーンの実施【1Q】
6名の運営パートナーを迎えることができ、安定的な運営ができるようになった。
- 民間図書館新規開設のプロジェクトのフロー化【2Q】
対象となる新規開設の図書館がなかったため、取り組めず、来季に再度取り組む。
- 運営パートナーサポート体制の検討
勉強会やMTGなどを定期的に行うことができている。

5. その他の事業

先の4事業と団体主旨の普及啓発を目的とし、日常的な広報活動を行いました。

5-1. 会報誌

主にNPO会員を対象とした会報誌をフリーペーパーにリニューアルしました。

【目標に対する実績】

- 会報誌自体のあり方の検討【1Q】
季刊「情報ステーション」としてリニューアルし、フリーペーパー化した。
- 発行フローの整理【2Q】
4半期に1度の発行を行う。

5-2. 視察・見学・講演

近年増え続けている視察・見学等に対し、より充実した資料・情報の提供を行います。また、気軽に見学等ができるような導線を設定し、見学者の増加を目指しました。

【目標に対する実績】

- 説明資料セットの作成【1Q、2Q】
今期取り組めず、来季に取り組むか検討。

5-3. 広報

あらゆる関係性を良くするために様々な情報を広く報じます。第三者目線から情報を整理してもらい、整理された情報を元に広報物を作成していきます。

【目標に対する実績】

- ホームページリニューアルのための情報整理【2Q】
NPO法人サービス Grant と協力し、様々な情報の整理ができた。
- ホームページのリニューアル【3Q】
図書館を開設したい方のためのページを作成した。